

平成29年度

事業計画書及び収支予算書



一般財団法人宝塚市保健福祉サービス公社

平成29年度  
一般財団法人宝塚市保健福祉サービス公社  
事業計画書及び収支予算書  
(事業計画書目次)

	頁
1. 基本方針	1
2. 組織運営	3
3. 公益事業	4
4. 介護保険事業	7
5. 各事業の取り組み視点一覧	13
6. 職員数に関する事項	15

(収支予算書目次)	
1. 経常（事業活動の部）収支予算	17
実施事業等会計（公益事業）	19
その他会計（介護保険事業）	20
法人会計	20
各事業収支予算内訳表	21
2. 投資・財務活動収支予算書・予備費	31

平成29年度

事 業 計 画 書

一般財団法人宝塚市保健福祉サービス公社

平成 29 年度  
一般財団法人宝塚市保健福祉サービス公社 事業計画

**【基本方針】**

平成 29 年度は、介護報酬の期中改定で改定率 1.14%、月 1 万円程度の介護人材の処遇改善が予定されています。さらに診療報酬と介護報酬のダブル改定を翌平成 30 年度に控え、新たな報酬改定に関する動向を把握し、各事業における明確な経営方針を策定する必要があります。

また、宝塚市との土地・建物に係る使用貸借契約を更新し、躯体・設備部分の修繕に関して一定の負担区分を市と公社間で定め、計画的に大規模修繕等を実施していくこととなります。

一方、第 2 次中期経営計画（チャレンジプラン 2016～2018）の 2 年目となる本年は、主要事業戦略に位置づけた「生活支援・介護予防」、「医療・介護連携」及び「介護保険事業における役割」について具体的に強化し、福祉公社本来の役割を果たす必要があります。そのためには積極的な外部環境への働きかけ、関係機関ネットワークの強化、職員意識の改革が必要であり、明確な具体的目標をアクションプランに設定し、達成に向けて取り組んでまいります。

**(介護保険事業)**

「介護老人保健施設ステップハウス宝塚」では、積極的な営業活動と柔軟かつスピーディな受入れ体制の継続による稼働率の維持・向上を図るとともに、宝塚市立病院をはじめ他医療機関との連携をより一層強化し、緊急ショートステイ等レスパイト機能を含む受け皿となれるような体制整備を行います。また、引き続き在宅復帰支援強化型の算定が維持できるように取り組んでまいります。

在宅系のサービスに関しましては、新規事業として訪問看護事業のサテライトステーション、訪問介護事業、居宅介護支援事業を逆瀬川エリアに展開し、市内第 2 ブロックに拠点を設けることで、より広範かつ増大する福祉ニーズに対応できる体制を整えます。また、新規事業を軌道に乗せつつ既存事業に関しても安定的に運営できるように取り組みます。

組織的にも現行の在宅サービス課を分割し、調整役である地域包括支援センター 2 か所及び居宅介護支援事業所 4 か所を「在宅サービス課」、訪問サービス主体の訪問看護事業、訪問介護事業、定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業を「訪問サービス課」とすることにより効率的かつ安定した運営が可能となる体制を整えます。

次に、通所サービスについてですが、「池ノ島デイサービスセンター」については利用者数等の実績及び加算状況を勘案し、大規模体制での運営を実施いたします。一方、「ステップごてんやまりハビリクラブ」については、平成 30 年度の介護報酬改正の動向により現在の運営形態を変更する必要性が生じる可能性があり、平成 29 年度中にスタッフの人員配置体制、デイルームの改修といった課題について引き続き検討してまいります。

最後に、上記各介護保険事業に関しては、前年度より継続的に実施しているサービス事業連携会議を 3 ヶ月に 1 回開催し、さらに内容や方法を改善しつつ、介護保険各事業間の連携を強化し、業務オペレーションの改善を図り、サービスにおける質・量の向上を目指します。

#### (公益事業)

普及啓発事業については、機関誌「えがお」を年2回発行するとともに、地域包括支援センターや訪問看護による介護教室・健康教室等地域向けの取り組みを継続することで地域住民への意識啓発を行います。また、実習受入についてもより積極的に受け入れていくことで専門学校からの卒業生を採用に結びつけ、介護職の人材不足を解消できるように取り組みます。

介護技術等研修事業については、介護職員初任者研修を2講座、40名の参加を目指して継続開催いたします。また、昨年度より宝塚市から受託し、実施している訪問サービスA事業従事者養成研修を宝塚市と連携しながら最低4講座開催し、1回講座定員20名のため少なくとも80名の日常生活総合事業における「宝塚市生活支援ヘルパー」を養成できるよう取り組みます。

受託事業につきましては、育児・介護ファミリーサポートセンター共に会員数の増加を図りより一層幅広く市民のニーズに応えられる体制を確保します。また、地域におけるリハビリニーズが高まる中、「いきいき百歳体操」や公社の自主事業である高齢者の介護予防を中心とした体操「ステップはつらつ体操事業」を拡充してまいります。

#### (事務局、総務・管理事業)

事務局においては、前年度に引き続き人事制度改革を推進し、等級制度・評価制度・報酬制度を見直し、新たな制度設計を行います。また、チャレンジプランに基づく経営管理体制強化のため「経営企画室」を新設し、営業や新規事業の展開、財務分析・資金運用、人材確保や人材育成、大規模修繕等に対して戦略的に取り組める体制を整えます。

総務・管理部門では、「総務課」と「管理課」に分割されていた組織を統合し、経営資源である人、物、金、情報を一元的管理し、横断的に対応できる管理体制を構築します。

中でも介護人材の確保については、外国人介護福祉士の受け入れも含め、様々な採用方法を検討するとともに、入職後の離職を防ぎ定着率を高める組織づくりを行います。一方、人材育成の部分ではキャリアアップの仕組み等を充実させ、前年度も実施したミドルマネジャー研修等、外部研修への参加を含めた職員研修を積極的に実施し、人材の底上げを目指します。

事務面では、平成25年度に法人形態が変更し、一般財団法人となった公社にふさわしい運用ができるよう就業規則・規程・要綱の見直し作業を継続します。さらに勤怠管理の方法についてもソフトの導入等を検討し、各課における業務効率の向上を目指します。

施設設備面では、介護老人保健施設ステップハウス宝塚や池ノ島デイサービスセンターにおいて経年劣化に伴う空調機器の入れ換え等大規模修繕が必要な状態となっており、保全計画に基づき、市担当課と協議の上、緊急性の高い内容から順次取り組んでまいります。

「地域に根ざしたサービス展開」「誰もが知ってる福祉公社」となれるようホームページを見やすくリニューアルし、PRを進めるとともに「公社ブランドの浸透」を念頭に各事業の名称に「ステップ」を冠し、公社イメージの統一、ブランド力の強化を図ります。その上で、宝塚市における地域包括ケア構築に貢献できるよう、高齢者のみならず障がい者・障がい児等へのサービス等も拡充し、広く市民からの福祉ニーズに応えていける福祉公社となれるよう、今後も職員一丸となって取り組んでまいります。

1 組織運営（部門目標：管理部門の統合により効率的かつ正確な事業運営を行う。また人事制度改革、大規模修繕への対応、営業・財務戦略等の検討により経営基盤の確立に向けた取り組みを行う。）

事業名 事業目的	事業目標	達成基準および具体的対応
(1)理事会・評議員会  予算・決算・事業計画・定款・規則・規程改正など、公社の重要事項を決定する。	(目 標) ①予算・決算・事業計画・定款・規則・規程改正など、公社の重要事項を決定する。	(具体的対応) ①理事会 年3回(臨時開催有) ②評議員会 年3回(臨時開催有)
(2)トップ会議  経営職層による公社の経営方針策定のための会議。  理事長と事務局の連絡、調整等や、理事会・評議員会の議案を検討する。	(目 標) ①定期的に会議を開催し、月次決算報告や連絡を行い、経営分析をふまえ、経営方針の策定・今後の活動について協議する。 ②理事会・評議員会議案を検討する。	(具体的対応) ①月1回 (臨時開催有)
(3)マネジャー会議  副課長以上のメンバーで会議を開催し、連絡調整、事業の企画立案等、公社全体の機能強化を図る。	(目 標) ①月次決算・事業実績の報告 ②今後の課題についての検討 ③連絡事項等の調整	(具体的な内容) ①月1回 (臨時開催有)
(4)プロジェクト会議  中期経営計画(チャレンジープラン)目標達成のため、選抜したメンバーによる新規事業や既存事業の見直しについて検討する。	(目 標) ①中期経営計画(チャレンジープラン)における目標達成のため経営企画室における具体的な方針及び実施内容等の検討 ②既存事業の見直し・改善・連携強化 ③アクションプランの進捗管理 ④人事制度改革の推進	(具体的な内容) ①経営企画室会議:1回/月 (臨時開催有) ②サービス事業連携会議:1回/3月 ③アクションプラン進捗管理面接 1回/3月 ④人事制度における報酬、評価、等級についての検討会議:1回/月 (臨時開催有)

2 公益事業(部門目標:宝塚市との連携を強化し、公社ブランドを高めるための取り組みを実施する。)

事業名 事業目的	事業目標	達成基準および具体的対応
(1)普及啓発事業  定期的に機関誌等を発行することにより公社事業をPRするとともに、地域住民にとって有益となる医療・保健・福祉に関する情報の提供を行う。	(目標) ①地域向けに公社の事業内容やイベントを周知する。また、介護教室や健康教室を開催、及び地域での保健活動に参加することにより、住民の意識啓発を行う。	(達成基準) ①年2回機関誌「えがお」を発行する。 ②小浜・御殿山包括において約370回/年地域に出かけるヒューマンケア講座を開催する。 ③訪問看護ステーションから地域でのイベントに2~3回/年参加する。  (具体的対応) ①広報委員会において、内容等を検討、担当部署と連携を図りつつ、地域住民にとって有益である情報を掲載する。 ②地域包括支援センターを中心に、地域における介護・健康教室を開催する。 ③訪問看護を中心に、まちの保健室を継続実施する。
(2)実習受入事業  病院、大学、各種専門学校等から広く実習生を受け入れ、人材の養成を行う。	(目標) ①様々な機関から実習生を受け入れることで、医療福祉分野における将来の人材育成に寄与するとともに、実習生に対応する職員自身のスキルアップを図る機会とする。	(達成基準) ※以下、延べ人数を表記 ①ステップハウス(105名)、訪問看護(22名)、居宅介護支援事業(10名)、小浜ヘルパーステーション(35名)、池ノ島デイサービス(14名)、地域包括(10名)、通所型介護予防(24名) (具体的対応) ①実習担当者によりプログラムに沿った指導を実施し実習課題への取り組みを支援する。 ②実習機関の担当教員との連携により正確な評価を行い、公社における実習の信頼性を高める。 ③外国人実習生の受入れを実現する。
(3)介護技術等研修事業 ①介護職員初任者研修  宝塚市の高齢者・障害者への介護支援等を担う人材の育成。  ②訪問サービスA事業従事者養成研修  宝塚市より委託を受け、日常生活総合事業における訪問サービスA事業に従事する人材を養成する。	(目標) ①高齢者・障害者への介護を担う人材を養成するため初任者研修講座を開講し、心豊かな福祉都市の形成に寄与する。  (目標) ①日常生活総合事業における訪問サービスA事業従事者研修を開催することにより、要支援者へのサービス提供主体となる人材を養成していく。	(達成基準) ①年2回講座を開講する (5月・9月開講) ②参加人数 各回20名以上 (具体的対応) ①阪神北県民局の指定要綱に基づき、講義・実技・実習130時間のカリキュラムを実施する。 ②1講座5名を限度に、受講料を全額免除とし、経済弱者の受講環境を整備する。  (達成基準) ①年4回講座を開講する。 ②参加人数 各回定員20名  (具体的対応) ①介護保険制度や家事支援を中心としてサービスについて1日6時間の研修を2日間実施する。 ②上記終了後に、概ね4時間程度実際の訪問現場を学ぶために実習を行う。

<p>(4)シルバーハウジング運営事業</p> <p>宝塚市の委託を受け緊急通報システム付き高齢者住宅に生活援助員を派遣して、安否確認・生活相談・緊急時の対応一時的な家事援助・関係機関との連携を行い、入居者の方の在宅生活を支援する</p> <table border="0" data-bbox="166 467 536 736"> <tbody> <tr><td>①市営池ノ島第2住宅</td><td>30戸</td></tr> <tr><td>②市営安倉西住宅</td><td>30戸</td></tr> <tr><td>③市営中筋山手住宅</td><td>8戸</td></tr> <tr><td>④市営亀井住宅</td><td>12戸</td></tr> <tr><td>⑤市営亀井第3住宅</td><td>6戸</td></tr> <tr><td>⑥県営宝塚福井住宅</td><td>21戸</td></tr> <tr><td>⑦県営宝塚安倉南住宅</td><td>15戸</td></tr> <tr><td>⑧県営宝塚泉町住宅</td><td>16戸</td></tr> <tr><td colspan="2">(計138戸)</td></tr> </tbody> </table>	①市営池ノ島第2住宅	30戸	②市営安倉西住宅	30戸	③市営中筋山手住宅	8戸	④市営亀井住宅	12戸	⑤市営亀井第3住宅	6戸	⑥県営宝塚福井住宅	21戸	⑦県営宝塚安倉南住宅	15戸	⑧県営宝塚泉町住宅	16戸	(計138戸)		<p>(目 標)</p> <p>住み慣れた地域で、自立して、安全で快適な生活を営むことができるよう見守り等の安否確認を行う。</p> <p>また、何らかの援助が必要な場合は、地域包括支援センターなどの関係機関や医療機関、家族等との連携を図る。</p>	<p>(達成基準、具体的対応)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①日曜日は待機対応とし、その他平日・祝日は巡回訪問し安否確認・相談支援を行う。</li> <li>②緊急通報の際は24時間対応を行う</li> <li>③シルバーハウジングおよび地域の方との交流の場を設け、交友関係を持つことにより楽しみの場・孤立の予防を図れるよう援助していく。</li> </ul>
①市営池ノ島第2住宅	30戸																			
②市営安倉西住宅	30戸																			
③市営中筋山手住宅	8戸																			
④市営亀井住宅	12戸																			
⑤市営亀井第3住宅	6戸																			
⑥県営宝塚福井住宅	21戸																			
⑦県営宝塚安倉南住宅	15戸																			
⑧県営宝塚泉町住宅	16戸																			
(計138戸)																				
<p>(5)宝塚市ファミリーサポートセンター(育児)</p> <p>宝塚市の委託を受け、市民相互の援助活動を通して子育てを地域で支え合うことにより、子ども・子育てにやさしいまちづくりを支援する。</p>	<p>(目 標)</p> <p>ファミリーサポート事業の趣旨を理解していただき、よりよい活動が増えるよう、きめ細やかな対応を心がける。</p>	<p>(達成基準、具体的対応)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①提供会員新加入を年間50人増やす。</li> <li>②厚生労働省の通知に従い、提供会員養成講習会を24時間(年間)開催する。</li> <li>③多種多様な相談に対応する為、アドバイザーの資質の向上と情報の収集に努め、現代の子育て支援に対応していく。</li> </ul>																		
<p>(6)宝塚市ファミリーサポートセンター(介護)</p> <p>宝塚市の委託を受け、会員相互の援助活動により、高齢者等が住み慣れた地域で自立した生活が継続できるよう支援する。</p>	<p>(目 標)</p> <p>総合事業への移行による変化に対応する為、宝塚市や関係機関等との連携を深め、市民の相互援助のネットワーク作りを更に進める。</p>	<p>(達成基準、具体的対応)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①提供会員年間40人・依頼会員年間60人増やす。特に提供会員の募集を強化する。</li> <li>②研修等を積極的に受け、アドバイザーのスキルアップを図り、会員への支援、相談の充実に取り組む。</li> <li>③今後の事業運営の方向性について、市と連携し支援内容についても明確に出来る部分は明確にし、各方面に発信していく。</li> </ul>																		

<p>(7) 通所型介護予防事業</p> <p>①介護予防地域普及啓発事業 (いきいき百歳体操) 65歳以上の高齢者を対象に兵庫県が推奨している高知県発祥の「いきいき百歳体操」を介護予防の取り組みとして実施する。</p> <p>②言語訓練事業 市内在住の40歳以上の方で脳血管障害後遺症などにより言語障害を有する方で、医療終了後も言語訓練が必要な者に対して健康増進法に基づき市の委託を受け事業を実施する。</p> <p>③ステップはつらつ体操事業 市内在住の65歳以上の高齢者を対象に運動指導員による集団指導を中心とした体操教室を介護予防の取り組みとして実施する</p>	<p>(目 標) 高齢者自身が主体的に介護予防に取り組むことにより介護予防の重要性を理解していただき、地域の中で定着した活動になるよう自立又は近隣住民同士の関係を築きながら継続して介護予防に取り組んでいけるような仕組み作りを目指す。</p> <p>(目 標) ①言語機能の維持・回復を図るために集団での言語訓練を行う。</p> <p>(目 標) 定期的に集団での運動を行うことで介護予防を行うと共に地域との交流の場としても機能させ、引きこもりの予防にも役立てる。今年度より開始される介護予防・日常生活支援総合支援者の受け入れも行っていく。</p>	<p>(達成基準、具体的対応) ①利用者数 市内80会場 各会場 10から15名程度 ②回数 導入時4回目まで週1回 以後 3, 6, 12, 24か月経過ごとに出務、実技指導、体力測定を実施 ③時間 午前、午後 1回60分から90分</p> <p>(達成基準、具体的対応) ①利用者数 市内1会場 10名程度 ②回数、時間 月1回 年間12回 1回90分。医師の指導のもとに言語聴覚士、理学療法士、看護師が実施する。</p> <p>(達成基準、具体的対応) ①利用者数 市内10会場で135名程度 ②回数、時間 週1回 年間420回 1回60分から90分。運動指導員、理学療法士が実施する</p>
<p>(8) 要介護認定調査 宝塚市の委託を受け、事務受託法人として、介護保険の要介護認定にかかる認定調査を行う。 新規申請は市内全域を、更新・区分変更申請は市内一部エリアを担当する。</p>	<p>(目 標) 市や他機関と連携し、基準に基づき公平かつ的確な認定調査を行う。</p>	<p>(達成基準) ①新規申請 270件/月 ②更新・区分変更 140件/月</p> <p>(具体的対応) ①延滞なく委託件数を調査するための職員体制を適切に維持する。 ②研修などの参加により、ケアレスミスの低減を図る。</p>

3 介護保険事業(部門目標:各事業の意識改革を行い、ニーズに合ったサービスの提供と利用者数増に繋げる。)

事業名 事業目的	事業目標	達成基準および具体的対応
(1)ステップこはま訪問看護ステーション事業(サテライトさせがわ含む)  在宅療養者に対し、医師の指示に基づき看護師、各療法士が訪問し、必要な看護、リハビリを提供する。地域における在宅療養の相談窓口となる。	(目標) 地域包括ケアシステムを意識し、あらゆるニーズに対し、柔軟な対応ができる、スタッフが長く続けられるステーションとなる。	(達成基準) ①事業量(訪問件数)936件/月 ②職員の確保 常勤換算16人 正看護師6人 臨時看護師6人 正セラピスト4人  (具体的対応) ①安定的サービスを提供するための人員体制を整え効率的に訪問できるよう、サテライトを設立。 ②質の向上を図るため、研修、学会等の、教育体制を充実させる。 ③訪問看護認定看護師を中心に地域のニーズに応じて幅広く、オープンな活動を行う。 ④ICTを利用した効率的な情報共有をすすめる。
(2)ステップハウス宝塚(介護老人保健施設)事業  医学的管理のもと看護・介護リハビリテーションのサービスを提供し、その有する能力に応じて、日常生活を送ることができるように支援する。	(目標) ・在宅強化型老健を維持する。 ・在宅復帰、在宅生活支援への取り組みを強化する。 ・稼働率の向上を目指す。	(達成基準) ①在宅復帰率:50% ②重度者要件:35% ③利用率(稼働率):月平均97.0% ④短期集中リハビリテーション:月平均650回  (具体的対応) ①職員体制を確立する。 ②在宅復帰に向けての取り組みを強化する。 ③各種加算算定に積極的に取り組む。 ④柔軟な受け入れ体制を継続し稼働率の向上を図る。
(3)ステップハウス宝塚(通所リハビリテーション)事業  利用者に対し、リハビリテーション等のサービスを提供することにより、心身機能の維持回復、介護予防等を図る。	(目標) ①専門性を発揮し、質の高い看護・介護・リハビリを提供し在宅生活を支援する。 ②利用率の維持向上を目指し、大規模(I)の体制を維持する。	(達成基準) ①利用率(稼働率): 1日平均95.0%(38人/日) ②短期集中リハビリテーション: 75人/月  (具体的対応) ①居宅介護支援事業所、地域包括支援センター等と連携し、利用者の確保に努める。 ②関係機関との連携強化に努め、利用者個々のニーズに応じたサービスを提供する。 ③係内の勉強会を充実させ、個々の職員のスキルアップを図る。
(4)ステップハウス宝塚(訪問リハビリテーション)事業  介護老人保健施設の理学療法士等が利用者の自宅を訪問し医師の指示に基づき利用者の状態に応じたリハビリテーションを提供することにより、利用者の心身機能の維持回復を図る。	(目標) ①利用者個々のニーズに応じたリハビリを提供し、在宅生活を支援する。 ②利用回数の維持増加を目指す。	(達成基準) 利用回数:1月あたり420回 (具体的対応) ①居宅介護支援事業所、地域包括支援センター等と連携し、利用者の確保に努める。 ②専門性を発揮し、利用者のニーズに応じた質の高いリハビリを提供する。 ③研修、教育の充実化によりスタッフの専門性の向上を図る。

<p>(5)ステップごてんやまケアプランステーション事業</p> <p>要介護者からの依頼を受け、心身の状況や環境等をアセスメントし、利用者の自己決定に基づいた「自立支援型」のケアマネジメントを行う。</p>	<p>(目 標)</p> <p>利用者に応じた質の高いケアマネジメントを提供し、利用者数を維持、確保する。</p>	<p>(達成基準)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①ケアマネジャー1人につき36.5件の給付管理を維持する。</li> <li>②目標件数 265件(予防1/2)</li> <li>③特定事業所加算(II)の算定を継続する。</li> </ul> <p>(具体的対応)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①効果的な研修を行い、職員の専門性を高める。</li> <li>②人材育成、主任ケアマネジャーの育成を計画的に進める。</li> <li>③特定事業所加算算定の体制を維持する。</li> <li>④地域包括支援センターや医療機関等との連携を密に行い利用者サービスにつなげる。</li> <li>⑤業務の効率化と整備を行う。</li> </ul>
<p>(6)ステップこはまケアプランステーション事業</p> <p>要介護者からの依頼を受け、心身の状況や環境等をアセスメントし、利用者の立場に立つて「自立支援型」のケアマネジメントを行う。</p>	<p>(目 標)</p> <p>利用者に応じた質の高いケアマネジメントを提供し、利用者数を維持、確保する。</p>	<p>(達成基準)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①ケアマネジャー1人につき36.5件の給付管理を維持する。</li> <li>②目標件数 228件(予防1/2)</li> <li>③特定事業所加算(II)の算定を継続する。</li> </ul> <p>(具体的対応)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①効果的な研修を行い、職員の専門性を高める。</li> <li>②人材育成、主任ケアマネジャーの育成を計画的に進める。</li> <li>③特定事業所加算算定の体制を維持する。</li> <li>④地域包括支援センターや医療機関等との連携を密に行い利用者サービスにつなげる。</li> <li>⑤業務の効率化と整備を行う。</li> </ul>
<p>(7)ステップいけのしまケアプランステーション事業</p> <p>要介護者からの依頼を受け、心身の状況や環境等をアセスメントし、利用者の立場に立つて「自立支援型」のケアマネジメントを行う。</p>	<p>(目 標)</p> <p>利用者に応じた質の高いケアマネジメントを提供し、利用者数を維持、確保する。</p>	<p>(達成基準)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①ケアマネジャー1人につき36.5件の給付管理を維持する。</li> <li>②目標件数 152件(予防1/2)</li> <li>③特定事業所加算(II)の算定を継続する。</li> </ul> <p>(具体的対応)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①効果的な研修を行い、職員の専門性を高める。</li> <li>②人材育成、主任ケアマネジャーの育成を計画的に進める。</li> <li>③特定事業所加算算定の体制を維持する。</li> <li>④地域包括支援センターや医療機関等との連携を密に行い利用者サービスにつなげる。</li> <li>⑤業務の効率化と整備を行う。</li> </ul>

<p>(8)ステップさせがわケアプランステーション事業</p> <p>要介護者からの依頼を受け、心身の状況や環境等をアセスメントし、利用者の自己決定に基づいた「自立支援型」のケアマネジメントを行う。</p>	<p>(目 標)</p> <p>利用者に応じた質の高いケアマネジメントを提供し、利用者数を維持、確保する。</p>	<p>(達成基準)</p> <p>①ケアマネジャー1人につき36.5件の給付管理を維持する。 ②目標件数 130件(予防1/2) ③特定事業所加算(II)の算定を継続する。</p> <p>(具体的対応)</p> <p>①効果的な研修を行い、職員の専門性を高める。 ②人材育成、主任ケアマネジャーの育成を計画的に進める。 ③特定事業所加算算定の体制を維持する。 ④地域包括支援センターや医療機関等との連携を密に行い利用者サービスにつなげる。 ⑤業務の効率化と整備を行う。</p>
<p>(9)ステップこはまヘルパーステーション事業</p> <p>介護や生活支援が必要な要介護者や障害者等に対し、ヘルパーが訪問し利用者の心身の状況に応じた介護サービスを提供する。</p>	<p>(目 標)</p> <p>利用者の在宅生活が維持、継続できるようニーズに応じた良質な介護を提供する。又、定期巡回サービスにおいて看護との連携を図り柔軟なサービス提供を行なう</p>	<p>(達成基準)</p> <p>①サービス提供回数 1,780回 (月平均) (常勤換算 21.1人) 定期巡回(介護)1,140回</p> <p>(具体的対応)</p> <p>①人材を確保し、リーダーの役割を担うサービス提供責任者を育成する。 ②効果的な研修を計画、実施し、職員のスキルアップを図る。 ③特定事業所加算(I)算定継続 ④他機関や医療との連携を推進し利用者数を増やす。 ⑤事務作業の見直しを行い、効率化に取り組む。</p>
<p>(10)ステップさせがわヘルパーステーション事業</p> <p>利用者の尊厳を守り、変化する利用者のニーズに柔軟に対応し利用者及び介護者の負担軽減と自立支援に向け、心身に応じた介護サービスを提供する。</p>	<p>(目 標)</p> <p>利用者の在宅生活が維持、継続できるようニーズに応じた良質な介護を提供する。</p>	<p>(達成基準)</p> <p>①サービス提供回数 100回 (月平均) (常勤換算 4.1人)</p> <p>(具体的対応)</p> <p>①人材を確保し、リーダーの役割を担うサービス提供責任者を育成する。 ②効果的な研修を計画、実施し、職員のスキルアップを図る。 ③他機関や医療との連携を推進し利用者数を増やす。 ④事業事務の効率化と整備を図る</p>

<p>(11) 池ノ島デイサービスセンター事業</p> <p>中重度者の方へのケアの充実を図り、専門職による機能訓練を提供し在宅で自立した生活を支援する。</p> <p>利用者個々のニーズに対応しまた、短時間のリハビリのみのサービス提供にて個別機能訓練等により心身機能の向上を図る。</p>	<p>(目 標)</p> <p>①利用者個々のニーズに応じたサービスを提供し、在宅生活を支援する。</p> <p>②専門職によるリハビリテーション、中重度者のケアの充実を図り、利用率向上を目指す。</p> <p>③職員及びケア内容の質の向上を図る。</p>	<p>(達成基準)</p> <p>①1日あたりの利用者数 38.5名 ②1月あたりの延べ利用人数 994名 ③すべての加算算定</p> <p>(具体的対応)</p> <p>①居宅介護支援事業所、地域包括支援センター等と連携し、利用者の確保に努める。</p> <p>②サービス提供時間等あらゆるニーズにも対応しうるサービスの提供に努める。</p> <p>③勉強会の実施や到達度チェックシートにより、職員の質の向上を図る。</p>
<p>(12) ステップごてんやまリハビリクラブ事業</p> <p>利用者に対しマシーンによる筋トレ・個々の日常生活の実情にあった療法士によるリハビリ訓練メニューの提供を行う。また、リハビリにて心身機能の維持向上を図ることにより、地域での生活の継続を支援する。</p>	<p>(目 標)</p> <p>①利用者の心身機能および在宅生活でのQOLの維持・向上を図る</p> <p>②療法士によるリハビリメニューや他者との交流の場の提供により在宅での自立した生活が継続できるよう支援していく。</p> <p>③職員及びケア内容の質の向上を図る。</p>	<p>(達成基準)</p> <p>①1日あたりの利用者数 :上期23名 下期26.7名 ②1月あたりの延べ利用人数 :上半期594名 下半期689名</p> <p>(具体的対応)</p> <p>①サービス提供時間3~5時間を基本とし、個々のニーズに基づいたサービスを提供する。</p> <p>②居宅介護支援事業所、地域包括支援センター等と連携、利用者の確保を図る。</p> <p>③必要に応じ在宅訪問を行い指導する。</p> <p>④定期的にリハビリ評価を行い状況に合わせた指導を行う。</p> <p>⑤各種イベントを開催し、リハビリ以外の部分でも利用者満足を得ていけるようにする。</p>
<p>(13) ステップこはま24hケアステーション事業</p> <p>地域包括ケアを担う事業として、要介護認定者の在宅生活を24時間支える。また、医療ニーズが高い高齢者に対し、医療と介護との連携を図るために、訪問介護と訪問看護の両方を提供し、定期巡回と随時の対応を行う。</p>	<p>(目 標)</p> <p>住み慣れたご自宅での生活が継続できるよう、状態に合わせて柔軟な訪問介護・看護を提供し、在宅生活の限界値を引き上げる。</p>	<p>(達成基準)</p> <p>①訪問介護事業と調整しつつ、利用者を18名/月の維持を目指す。 (定巡訪問:1,140回/月、 小浜:1,780回/月) (定巡訪問:53回/月、 ステップ看: 回/月)</p> <p>②体制を見直し、健全な職務遂行ができる。</p> <p>(具体的対応)</p> <p>①小浜ホームヘルパーステーションからの移管、法人内居宅から利用者を獲得する</p> <p>②定期巡回専任のヘルパー (常勤:2、パート:2)設置</p>

<p>(14)ステップ相談支援センター「ベルフルワーラー」事業</p> <p>指定特定相談支援事業所として、成人・子どもの障害者サービス利用のため計画相談を実施する。</p>	<p>(目標)</p> <p>利用者の自立支援を念頭に、地域にある様々な社会資源を活用したプランニングを行い、在宅生活を支援する。</p>	<p>(達成基準)</p> <p>①ケアプラン作成件数 300件 ②モニタリング実施件数 720件</p> <p>(具体的対応)</p> <p>①市、関係機関、地域からの新規相談に柔軟に対応し、利用者ニーズに沿った計画を作成する。 ②研修、勉強会等に積極的に参加し、職員のスキルアップを図る。 ③他機関や医療との連携を推進し、利用者数を増加させる。 ④運営上の課題等に関して、市担当課と協議を行いより良い方向性を検討していく。</p>
<p>(15)御殿山地域包括支援センター事業</p> <p>地域の高齢者的心身の健康の維持、保健・福祉医療の向上生活の安定のために必要な援助、支援を包括的に担う中核機関として、介護保険法に基づき市の委託を受け事業実施を行う。</p>	<p>(目標)</p> <p>総合相談支援、権利擁護業務、包括的・継続的ケアマネジメント支援業務、介護予防マネジメント業務を円滑に行う。 宝塚市内第3地区を担当する。</p>	<p>(達成基準、具体的対応)</p> <p>①介護予防ケアマネジメントの効率化を図ると共に、アセスメント・評価を確実に行う。 (直接・委託プラン合わせ480件を目標にする。) ②包括的・継続的ケアマネジメント支援業務を確実に実施していく。 (交流会・研修会の開催、多職種連携推進によりケアマネジャー支援を充実させる。) ③いきいき百歳体操会場立ち上げ支援をはじめ、地域における介護予防への取り組みを進める。 (行政機関、公社、関係機関と連携して構築を進める。) ④虐待対応や成年後見制度利用支援、消費被害への対応など権利擁護にかかる取り組みを推進していく。 (虐待対応に関する普及・啓発、権利擁護センターや、法律職等との連携を目指す。) ⑤各職種ごとの特性を生かし、地域への事業展開を行う。 (関係機関との連携、地域住民、民生委員等とのネットワークを強化し、地域包括ケア体制構築認知症対応に向けた地域づくりを継続する。)</p>

<p>(16) 小浜地域包括支援センター事業</p> <p>地域の高齢者的心身の健康の維持、保健・福祉医療の向上生活の安定のために必要な援助、支援を包括的に担う中核機関として、介護保険法に基づき市の委託を受け事業実施を行う。</p>	<p>(目標)</p> <p>総合相談支援、権利擁護業務、包括的・継続的ケアマネジメント支援業務、介護予防マネジメント業務を円滑に行う。</p> <p>宝塚市内第4地区を担当する。</p>	<p>(達成基準、具体的対応)</p> <p>①介護予防ケアマネジメントの効率化を図ると共に、アセスメント・評価を確実に行う。 (直接・委託プラン合わせ360件を目標にする。)</p> <p>②包括的・継続的ケアマネジメント支援業務を確実に実施していく。 (交流会・研修会の開催、多職種連携推進によりケアマネジャー支援を充実させる。)</p> <p>③いきいき百歳体操会場立ち上げ支援をはじめ、地域における介護予防への取り組みを進める。 (行政機関、公社、関係機関と連携して構築を進める。)</p> <p>④虐待対応や成年後見制度利用支援、消費被害への対応など権利擁護にかかる取り組みを推進していく。 (虐待対応に関する普及・啓発、権利擁護センターや、法律職等との連携を目指す。)</p> <p>⑤各職種ごとの特性を生かし、地域への事業展開を行う。 (関係機関との連携、地域住民、民生委員等とのネットワークを強化し、地域包括ケア体制構築認知症対応に向けた地域づくりを継続する。)</p>
--	--	---

## 平成29年事業別取組視点

### (1) 公益事業(継続事業)

事業名	主な取組内容(☆ 新規 ◇ 拡充 ○ 改善 ◇維持 ▲下方修正 )
普及啓発	◇2回×3,000部
実習受入事業	○220名/年
介護技術等研修	◇初任者研修目標:2講座×20名 ☆訪問型サービスA事業従事者養成研修:4講座×20名
シルバーハウジング	◇平日・土曜・祝日の巡回訪問の充実 ◇シルバーハウジング住民と地域住民等の地域交流の場の維持
ファミリーサポート	
育児	◇月～土の週6日開所でサービスの向上 ○会員を整理し業務の効率化 ◇サポート会員新規加入50名
介護	◇提供会員新規加入40名 ○今後に繋がる年齢層の開拓 ○業務内容の改定(報酬額・緊急時連絡先・活動範囲・ファミサボくんの更新等)
通所介護予防	◎いきいき百歳体操事業:市内80ヶ所 ◇言語訓練事業:市内1会場・10名 ◎ステップはつらつ体操教室:市内6か所・80名
認定調査	◇調査件数410件/月 (新規270件・更新140件)

### (2) 介護保険事業

事業名	主な取組内容(☆ 新規 ◇ 拡充 ○ 改善 ◇維持 ▲下方修正 )
訪問看護	▲目標事業量 936回/月 ・小浜536回/月 ・逆瀬川400回/月 ○ステーション目標常勤換算数 11.8人 正看護師 6人(3+3) 非常勤常勤換算5.5人(3+2.5) 正セラピスト 4人(2+2) 兼務ST 0.1人 ▲常勤換算一人当たり 80回/月 ・小浜80回/月 ・逆瀬川80回/月 ○緊急加算契約者を全体の7割以上 ○医療保険30%以上 ◇訪問単価9,000円以上 ○まちの保健室1回/2ヶ月→1ヶ月(拠点の拡充) ◇対専門職連携目的の会議に1回/月参加し、ST内で共有する ○ICTを活用した、他法人とのタイムリーな情報共有
介護老人保健施設	○利用率97.0% ◇在宅復帰率50.0%以上 重度者要件35%以上(H28年同様) ◇短期集中リハビリ加算650回/月 ◇強化型算定365日
通所リハビリテーション	○利用率95%(38人/日) ◇短期集中リハビリ加算3人/日 ◇中重度加算の維持
訪問リハビリテーション	○利用回数 1月あたり420回 ◇週5日営業(H28同様)
居宅介護支援	▲ケアプラン件数36.5件/1人(予防プラン含む) ◇特定事業所加算(Ⅱ)の算定 ○医療連携の充実 ○4居宅連携、質の向上(研修企画の充実)
ごてんやま	▲目標事業量 265回/月
こはま	▲目標事業量 228回/月
いけのしま	▲目標事業量 152回/月
さかせがわ	☆目標事業量 130回/月

事業名	主な取組内容(☆ 新規 ◎ 拡充 ○ 改善 ◇ 維持 ▲ 下方修正)
訪問介護	○障害福祉サービス利用者 3名増 ☆特定事業所加算(I)維持
こはま	▲実施回数 1,780回/月 ○サ責 一人当たり平均訪問時間 80時間/月 ▲巡回 一人当たり平均訪問時間 120時間/月 ◎人材確保、育成(初任者研修修了者のフォローアップ実施検討)
さかせがわ	☆実施回数 1,200回/月 ☆サ責 一人当たり平均訪問時間 80時間/月 ☆巡回 一人当たり平均訪問時間 120時間/月 ☆人材確保、育成(初任者研修修了者のフォローアップ実施検討)
訪問入浴	平成28年度において事業廃止
通所介護	○1日平均利用38.5人 ○1月平均延べ人数994名利用予定 ◇営業日すべての加算算定
ステップリハビリケアごてんやま (通所介護)	◇1日当たりの利用者数17.8人 ◇1月平均延べ人数459名利用予定
ステップ24hケアステーション こはま	○利用者数18人/月 うち、要介護1~3 の利用者数 要介護4~5 の利用者数 ◇平均介護度 ◇適切な訪問回数 平均回数 うち、要介護1~3 の平均訪問回数 要介護4~5 の平均訪問回数 ○夜間・早朝(22時~5時)のニーズへの対応(夜勤体制・シフト変更の検討) 定期訪問2件、随時対応10件、または随時訪問3~5件 /日 ◇地域への広報活動(月1回)
ステップ相談支援センター ベルフラワー	☆ケアプラン作成件数 300件 ☆モニタリング実施件数 720件
地域包括支援センター	
御殿山	◇3職種一人当たり25件 ◇ケアマネジャー常勤換算一人当たりプラン担当数70件(実給付) ◎直接・委託プラン合わせて480件/月
小浜	◇3職種一人当たり25件 ◇ケアマネジャー常勤換算一人当たりプラン担当数70件(実給付) ◎直接・委託プラン合わせて360件/月

### (3)設備投資・基金積立事業

事業名	主な取組内容(☆ 新規 ◎ 拡充 ○ 改善 ◇ 維持 ▲ 下方修正)
能力開発費	◇資格取得研修費 1,000千円
減価償却費	◇減価償却費 15,000千円
什器備品費	老健(施設用ベッド2,116千円 廉房機器1,306千円) 池ノ島デイ(厨房食器洗浄機988千円 マルチマシン172千円) その他
修繕費	老健(2F談話室窓750 屋上タイル張替550)その他



平成29年度

# 収 支 予 算 書

一般財団法人宝塚市保健福祉サービス公社

























